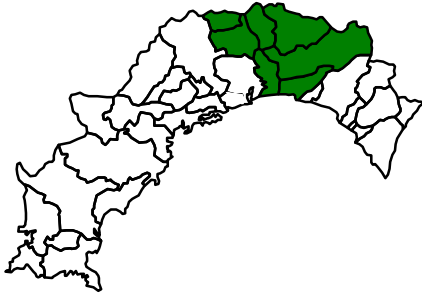


中央東圏域

南国市 香美市
香南市 本山町
大豊町 土佐町
大川村



◆ 圏域内の障害のある人の状況 (H20. 3. 31 現在)

	人 数		うち、65 歳以上	
		率		率
圏域内の人口	127,714		36,854	28.9
身体障害者手帳所持者	7,654	5.99%	5,649	73.8%
療育手帳所持者	889	0.70%	81	9.1%
精神障害者 保健福祉手帳所持者	357	0.28%	52	14.6%
※ (参考) 自立支援医療 (精神通院) 受給者証所持者 : 1,194 人				

※ 人口は、H20. 3. 31 現在 住基ネット速報値

1 現状等

(1) 圏域の現状と課題

- 当圏域では、平野部にある3市と中山間地域に位置する嶺北4町村では、利用者数やサービスの供給体制などに大きな差が見られます。また圏域内にとどまらず、隣接する高知市内の事業所の利用が多いため、その調整が課題となっています。
- 南国、香美、香南の3市には、身体障害・知的障害の旧法施設や生活介護、就労継続支援などのサービス事業所が比較的多い一方、圏域内で不足する就労移行支援や児童デイサービス、短期入所などのサービスは、利用時期や定員との兼ねあいなどのため、利用したい時に利用できない状況も生じています。全体的にサービス供給体制の整備が進んでいる地域ですが、高知市を含めた市を超えた施設・事業所の相互利用の調整が課題となっています。
- 3市には、地域活動支援センター・相談支援事業所がそれぞれ設置され、利用者や関係機関から一層の充実が期待されていますが、地域活動支援センターについても、各市の利用者が相互に利用している実態があり、広域利用のルールづくりが課題となっています。
今後、障害の重度化や施設の新体系への移行などによるサービス利用量の増加やニーズの多様化に対応するためのサービス提供体制や相談支援体制の充実も必要です。
- 嶺北地域は、施設が1箇所、事業所が5箇所と少なく、しかも移動手段が限られ

利用しづらいため、県内でも特にサービスが不足しています。

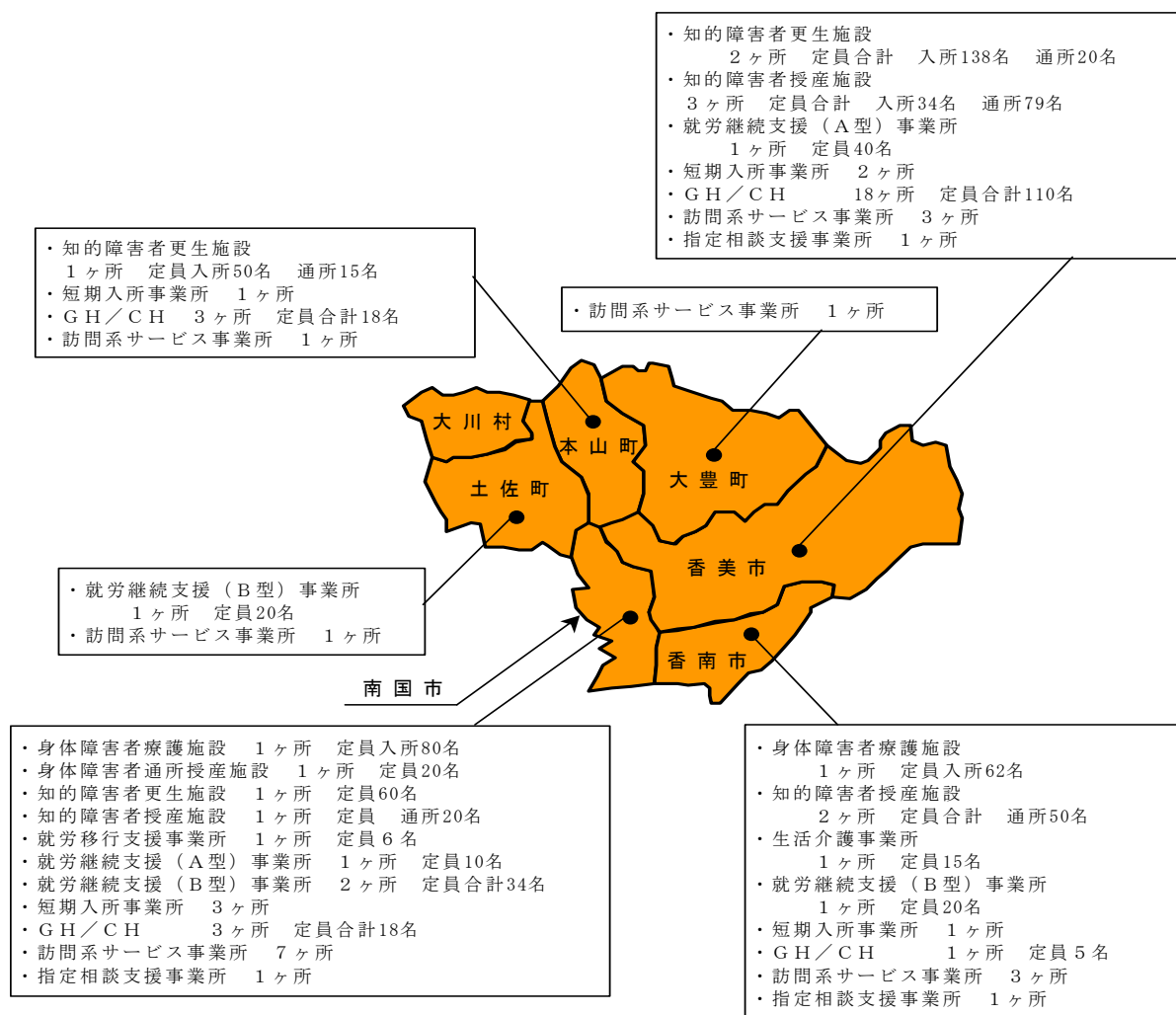
このため、障害のある人が身近なところでサービスが受けられるよう、新たな事業所の整備や既存施設を活用した取り組みなどを行うなど、サービス提供体制の充実が必要です。

○ 就労継続支援A型は、圏域内の施設がA型事業所に移行したことなどより、第1期計画の見込量よりも多く、また、圏域内の施設を利用する割合が、他の圏域と比べて高く、圏域内でサービスが比較的確保されています。一方で、生活介護や施設入所支援は、入所施設の移行が進んでいないことから、見込量を下回っています。

○ グループホーム等については、一定の整備が進んでいるため、約8割が圏域内を利用していますが、利用定員の関係で新たな利用は困難な状況にあります。

今後、施設入所者等の地域生活への移行等に伴い、利用者数の増加が見込まれることから、更なる施設の整備が必要です。

(2) 圏域内の旧法施設及び指定障害福祉サービスの提供基盤の状況



(3) 圏域内の地域移行等の目標

① 福祉施設入所者の地域生活への移行

項目	目標値	備考
現入所者数	240人	H17.10.1時点の入所者数
【目標値】 地域生活移行者数	69人	第1期計画の目標値：58人 20年7月末時点の実績：15人
【目標値】 平成23年度末入所者数	187人	第1期計画の目標値：206人 20年7月末時点の実績：242人

② 入院中の退院可能精神障害者の地域生活への移行

項目	目標値	備考
【目標値】 地域生活移行者数	54人	20年7月末までの実績：15人

③ 福祉施設利用者の一般就労への移行

項目	目標値	備考
平成17年度において福祉施設から一般就労へ移行した人の数	2人	
【目標値】 23年度における福祉施設から一般就労へ移行する人の数	14人	第1期計画の目標値：12人 18年度の実績：一人 19年度の実績：3人

(4) 障害福祉サービスの見込量等

① 訪問系サービス

サービス種別	利用実績			利用見込		
	18年度 (19年3月)	19年度 (20年3月)	20年度 (20年9月)	21年度 見込量	22年度 見込量	23年度 見込量
居宅介護、重度訪問介護、行動援護、 重度障害者等包括支援	985 時間/月	1,184 時間/月	1,446 時間/月	2,271 時間/月	2,402 時間/月	2,566 時間/月
	75人	90人	99人	135人	144人	156人

※ 利用実績は、各年度欄に括弧で記載する月の利用実績

② 日中活動系サービス

サービス種別	利用実績			利用見込		
	18年度 (19年3月)	19年度 (20年3月)	20年度 (20年9月)	21年度 見込量	22年度 見込量	23年度 見込量
生活介護	78 人日/月	123 人日/月	232 人日/月	462 人日/月	2,698 人日/月	5,527 人日/月
	8人	10人	16人	26人	131人	264人
自立訓練 (機能訓練)	— 人日/月	— 人日/月	— 人日/月	— 人日/月	64 人日/月	42 人日/月
	人	人	人	人	3人	2人
自立訓練 (生活訓練)	— 人日/月	17 人日/月	— 人日/月	— 人日/月	20 人日/月	214 人日/月
	—人	1人	—人	—人	1人	10人
就労移行支援	52 人日/月	59 人日/月	109 人日/月	210 人日/月	176 人日/月	572 人日/月
	3人	3人	7人	10人	8人	26人
就労継続支援 (A型)	— 人日/月	444 人日/月	369 人日/月	572 人日/月	638 人日/月	704 人日/月
	人	22人	23人	26人	29人	32人
就労継続支援 (B型)	217 人日/月	641 人日/月	882 人日/月	1,527 人日/月	2,752 人日/月	4,474 人日/月
	15人	48人	58人	85人	145人	229人
療養介護	3人	3人	2人	2人	2人	2人
児童 デイサービス	41 人日/月	30 人日/月	13 人日/月	29 人日/月	30 人日/月	30 人日/月
	21人	16人	8人	12人	12人	12人
短期入所	98 人日/月	68 人日/月	63 人日/月	161 人日/月	170 人日/月	183 人日/月
	12人	14人	8人	56人	58人	60人

※ 利用実績は、各年度欄に括弧で記載する月の利用実績

③ 居住系サービス

サービス種別	利用実績			利用見込		
	18年度 (19年3月)	19年度 (20年3月)	20年度 (20年9月)	21年度 見込量	22年度 見込量	23年度 見込量
共同生活援助 共同生活介護	81人	103人	88人	102人	126人	154人
施設入所支援	1人	1人	人	2人	78人	187人

※ 利用実績は、各年度欄に括弧で記載する月の利用実績

④ 指定相談支援サービス

サービス種別	利用実績			利用見込		
	18年度 (19年3月)	19年度 (20年3月)	20年度 (20年9月)	21年度 見込量	22年度 見込量	23年度 見込量
指定相談 支援サービス	一人	一人	一人	13人	16人	19人

2 必要なサービスの供給体制の整備

(1) 日中活動系サービス

サービス種別	圏域内の定員 (20年9月現在)	項目	21年度	22年度	23年度
生活介護	15人	圏域内事業所利用見込者数	21人	223人	420人
		整備が必要と見込まれる数	6人	202人	197人
		※(参考) 圏域内定員見込	15人	195人	381人
自立訓練 (機能訓練)	—	圏域内事業所利用見込者数	—	—	—
		整備が必要と見込まれる数	—	(3人)	(2人)
		※(参考) 圏域内定員見込	—	—	—
自立訓練 (生活訓練)	—	圏域内事業所利用見込者数	—	3人	17人
		整備が必要と見込まれる数	—	3人	14人
		※(参考) 圏域内定員見込	6人	26人	47人

※「整備が必要と見込まれる数」の()は、圏域内市町村のサービス利用見込者数

サービス種別	圏域内の定員 (20年9月現在)	項目	21年度	22年度	23年度
就労移行支援	6人	圏域内事業所利用見込者数	—	7人	29人
		整備が必要と見込まれる数	—	1人	22人
		※(参考) 圏域内定員見込	6人	21人	43人
就労継続支援 (A型)	50人	圏域内事業所利用見込者数	46人	48人	52人
		整備が必要と見込まれる数	—	—	2人
		※(参考) 圏域内定員見込	50人	50人	50人
就労継続支援 (B型)	74人	圏域内事業所利用見込者数	108人	172人	281人
		整備が必要と見込まれる数	34人	64人	109人
		※(参考) 圏域内定員見込	128人	188人	272人

サービス種別	圏域内事業所数 (20年9月現在)	項目	21年度	22年度	23年度
児童 デイサービス	—	圏域内事業所利用見込者数	—	—	—
		整備が必要と見込まれる数	(12人)	(12人)	(12人)
		※(参考) 圏域内事業所数	—	—	—
短期入所	7ヶ所	圏域内事業所利用見込者数	73人	80人	90人
		整備が必要と見込まれる数	(73人)	(80人)	(90人)
		※(参考) 圏域内事業所数	7ヶ所	7ヶ所	7ヶ所

※「整備が必要と見込まれる数」の()は、「圏域内事業所利用見込者数」が見込まれる場合には、その見込者数を、見込みがない場合には、圏域内市町村のサービス利用見込者数

(2) 居住系サービス

サービス種別	圏域内の定員 (20年9月現在)	項目	21年度	22年度	23年度
共同生活援助 共同生活介護	151人	圏域内事業所利用見込者数	163人	192人	228人
		整備が必要と見込まれる数	12人	29人	36人
		※(参考) 圏域内定員見込	151人	169人	203人
施設入所支援	424人 ^(※)	圏域内事業所利用見込者数	—	158人	331人
		整備が必要と見込まれる数	—	—	—
		※(参考) 圏域内定員見込	—	160人	354人

※ 施設入所支援の圏域内の定員(20年9月現在)は、旧法施設の入所定員

3 今後の取組み

(1) サービス提供体制の充実

- 児童デイサービス、短期入所については、圏域内の事業所等でもサービスが受けられるよう、利用者のニーズや利用量等を把握して、事業所開設への働きかけなど、サービス提供体制の充実に取り組んでいきます。
- 精神障害者・知的障害者の新たな利用や障害の重度化などにより増加が見込まれる訪問系サービスをはじめ、施設の新体系移行などにより整備が必要と見込まれる生活介護、就労継続支援B型などのサービスを充実するため、事業所などの関係機関との連携を図りながら、取り組みを進めていきます。
- 就労支援については、就労継続支援事業所や公共職業安定所、就業・生活支援センターと連携して、地元企業での職場実習を通した一般就労を促進します。
- 日中活動系サービスについては、圏域内にとどまらず高知市内の事業所を含めたサービスの利用調整や相互の連携を進めていきます。
- どの地域でも相談支援や日中活動へのさらなる取り組みが進むよう、地域活動支援センターや相談支援事業所の機能強化、また嶺北地域などの中山間地域での新たな事業所を確保するため、圏域内での協議を進めていきます。
- 全般的にサービスが不足している嶺北地域においては、障害のある人が身近なところで、ニーズに応じたサービスが受けられるよう、サテライトデイサービス事業や既存の高齢関係施設の利用の検討を行うなど、サービス提供体制を充実します。

(2) 住まいの場の確保

- 施設入所者等の地域生活への移行等に伴い、グループホーム等の利用が多く見込まれることから、施設整備の補助制度や地域の遊休資産を活用するなどして積極的に地域での住まいの場の確保を進めます。

(3) 地域における支援体制の充実

- 嶺北地域は、各町村がそれぞれ個別課題に取り組むとともに、4町村共同設置の自立支援協議会で上記のような広域の共通課題を検討、推進します。
- 南国、香美、香南の3市は、それぞれの自立支援協議会で個別課題に取り組むとともに、3市と事業所、福祉保健所等で構成する連絡調整会議を開催し、上記のような一市では解決できない広域の共通課題を検討、推進します。